

ヨシキリザメ 全水域

Blue Shark, *Prionace glauca*



管理・関係機関

大西洋まぐろ類保存国際委員会 (ICCAT)
 みなみまぐろ保存委員会 (CCSBT)
 全米熱帯まぐろ類委員会 (IATTC)
 インド洋まぐろ類委員会 (IOTC)
 中西部太平洋まぐろ類委員会 (WCPFC)
 北太平洋におけるまぐろ類及びまぐろ類似種に関する国際科学委員会 (ISC)

最近一年間の動き

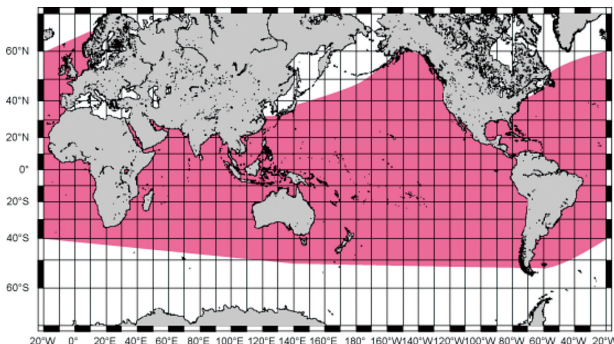
2013年に北太平洋ヨシキリザメの資源評価がISCサメ作業部会で行われ、本系群は乱獲状態にないことが示された。WCPFC科学委員会において日本とハワイのはえ縄のCPUEが互いに相反する傾向を示しているため2014年に資源評価をやり直すことが決議された。2012年の日本主要漁港への水揚量はおよそ7,512トンであり、東日本大震災が起こった2011年より幾分回復した。

生物学的特性

- 寿命：20歳以上
- 成熟開始年齢：雄：4～6歳 雌：5～7歳
- 繁殖期・繁殖場：初夏、北緯30～40度の海域
- 索餌期・索餌場：熱帯・温帯域
- 食性：魚類、頭足類
- 捕食者：幼魚は大型さめ類や海産哺乳類、成魚は調査中

利用・用途

肉はすり身など、鰭はふかひれ、皮は工芸品や医薬・食品原料、脊椎骨は医薬・食品原料



ヨシキリザメの分布 (Compagno 1984 より)

漁業の特徴

本種は全世界の熱帯から温帯にかけて出現し、外洋性さめ類の中で最も資源豊度が高いと考えられている。本種はまぐろはえ縄漁業で数多く漁獲されているが、混獲種であり、日本周辺の漁場を除き、遠洋水域で混獲されるヨシキリザメは外地で水揚げされるか放流されている。水揚げは宮城県の気仙沼港を中心に行われ、肉、鰭、脊椎骨、皮が食用や工芸用に利用されている。

漁業資源の動向

本種のはえ縄漁業等による水揚量は、1992～2012年において5,100～16,000トンであり、2001年をピークにやや減少傾向で、2011年は東日本大震災の影響により過去最低を大きく更新したが2012年は2010年レベルまで回復した。

資源状態

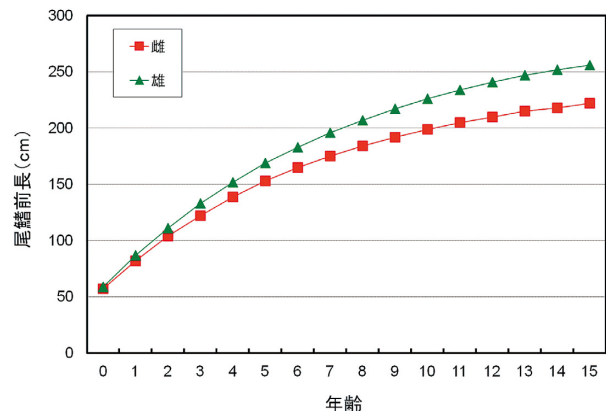
北太平洋では資源水準は中位であると考えられるが、2014年に行われる資源評価により更新される予定である。大西洋及びインド洋では顕著な増減傾向が見られないことから、資源動向は横ばいであると推測される。

管理方策

資源状態に顕著な変化は観察されていないので、保護・管理に対する勧告は特に必要ない。ただし、資源状態は引き続き観察していく必要がある。今後、オブザーバープログラム等、資料収集方法を検討する必要がある。

資源評価まとめ

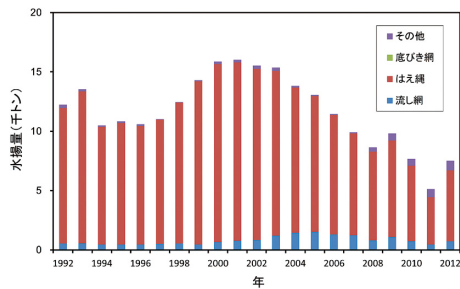
- 北太平洋において資源評価の準備が進行中。
- 長期的には資源は横ばい。



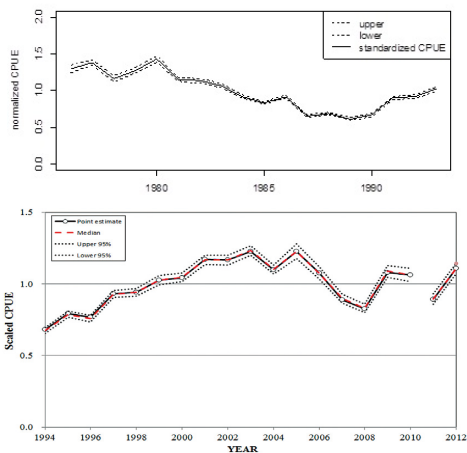
ヨシキリザメの年齢と成長 (中野 1994)

資源管理方策まとめ

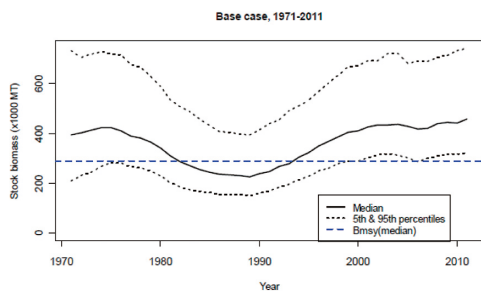
- 保護・管理に対する勧告は特に必要ない。
- 資源状態は引き続き観察していく必要がある。



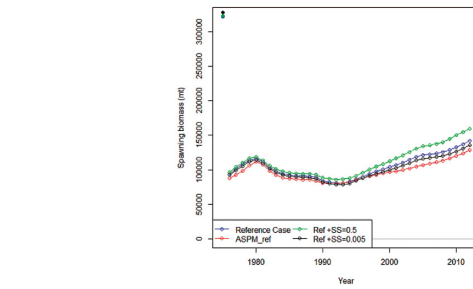
日本の主要漁港へのヨシキリザメ水揚量 (1992 ~ 2012 年)



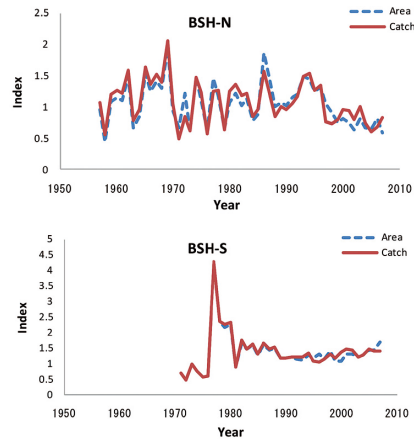
北太平洋海域において日本の近海遠洋まぐろはえ縄漁船により漁獲されたヨシキリザメの標準化 CPUE (上: 1976 ~ 1993 年, 下: 1994 ~ 2012 年) 点線は 95% 信頼区間、赤の破線は中央値を表す。東日本大震災の影響により 2011 年以降は別に推定した。



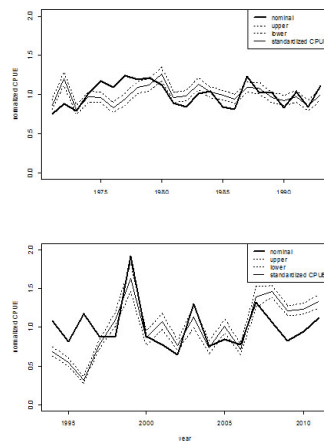
ベイジアンサープラスプロダクションモデルで推定された北太平洋ヨシキリザメの資源量。点線は 90% の信頼区間、破線は MSY 水準。



統合モデル (Stock Synthesis 3) で推定された北太平洋ヨシキリザメの産卵資源量 (青線がレファレンスケース、赤線が年齢構成を考慮したプロダクションモデル、緑線と黒線はそれぞれ体長組成データの重みづけを 0.5 と 0.005 にした場合)



大西洋におけるヨシキリザメの標準化された CPUE (上: 北大西洋, 下: 南大西洋, 1957 ~ 2009 年) 実線は重量、破線は面積で重みづけを行った標準化 CPUE を示す。



インド洋におけるヨシキリザメの CPUE (上: 1971 ~ 1993 年, 下: 1994 ~ 2011 年) 太実線はノミナル CPUE、細実線は標準化 CPUE、点線は 95% 信頼区間を示す。

ヨシキリザメ (全水域) の資源の現況 (要約表)					
	北太平洋	南太平洋	北大西洋	南大西洋	インド洋
資源水準	おそらく中位	調査中	調査中	調査中	調査中
資源動向	おそらく横ばい	調査中	横ばい	横ばい	横ばい
世界の漁獲量 (最近 5 年間)	調査中	調査中	3.1 ~ 3.8 万トン 平均: 3.5 万トン	2.3 ~ 3.5 万トン 平均: 2.7 万トン	平均: 9,452 トン (2007 ~ 2011 年)
我が国の漁獲量 (最近 5 年間)	5,149 ~ 9,824 トン (水揚量) 平均: 7,763 トン	調査中	1,227 ~ 2,531 トン 平均: 1,871 トン	981 ~ 1,789 トン 平均: 1,426 トン	調査中